令和６年度第１回ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

１　開催日時　令和６年１１月２０日　15：００～１７：００

２　開催場所　三重県合同ビル　４階　G402会議室

３　出席者数　出席９名　欠席６名

４　内容<事項>

（１）「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画（2023－２０２６）」の実績及び取組について

（２）三重おもいやり駐車場利用証制度車いす優先区画の試行の報告について

（３）UD啓発イベントの実施報告について

（４）その他

５　概要

（１）「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画（2023－２０２６）」の実績及び取組について

【委員意見】

* UDタクシーの実績について、具体的に何台増加しましたか。

また、認定レベル準１の新設について、いままで認められなかったのには、どのような理由がありますか。

⇒UDタクシー車両の導入数については８７台（R4.3）→９７台（R5.3）→１２８台（R6.3）に増加しています。

認定レベル1については元々２車種ありましたが１車種販売終了になりました。

その結果、横乗りの車種のみとなり、後ろから乗車できる車両の要望が利用者からありました。

その要望に対応するため国土交通省が基準の少し緩い認定レベル準１を令和６年度に新設し、県も補助対象としました。

認定レベル準１はタクシー専用車両ではなく、個人向けの車両のためタクシーとしての耐久性は落ちますが選択肢を増やすことや導入が遅れている地方でのバリアフリーのすそ野を広げ、利用者利便の向上を図ることを目的に国で改正が行われ、三重県もそれにならってレベル準１を補助対象とすることでさらなる普及を図りたいと考えています。

* 現在のUDタクシーはスロープの出し入れに時間がかかり、タクシー運転手も困っている。

電動車いすでは高さが足りず、UDタクシーでは乗れない。

スロープの出し入れに時間がかかるため、乗車拒否をされることもあり、障がい者の団体から国に申し入れしていた。

今回新たにレベル準１が創設されたことで、問題解決に期待しています。

* 「ヘルプマーク」の認知度や「UDの意味を知っており、関心もある」県民の割合を算出する際の回答者の年齢層などはどうなっていますか。

⇒eモニターにてアンケートを行っており、地域年代を幅広く、選挙人に準じた抽出方法でアンケートしております。

* 課題に「ヘルプマーク」を示しても声がけがないとあるが、どのようにその課題を把握していますか。

⇒電話での問い合わせやオンラインのアンケートでそのような意見があることを把握しています。

* UD団体の高齢化による人材の減少が考えられるが、どのように考えていますか。

⇒UDアドバイザー養成講座等によりすそ野を広げていくことで活路を見出したい。

* UDアドバイザー養成講座をUD団体主催で行っているが、団体にかなりの負担がかかっている。三重県で養成講座を開催する方向に切り替えたほうが良いのではないか。

⇒もともと県主催で養成講座を実施していましたが、アドバイザーの育成が進んだため、現在は団体主催で実施しています。

団体の高齢化等もありますので、今後の検討課題と認識しています。

* UD出前授業を中高生または福祉関係の学校等を対象としていないのですか。

⇒主に小中学校を対象に周知していますが、依頼があれば高校等でも対象としております。

* 出前授業の依頼があれば受けるのであれば、HP等で周知してはどうでしょうか。

⇒主に若年層を対象にしていたところがありますが、これまでの経緯や予算を考慮して検討していきたいと思います。

* いじめ等の問題を聞くたびにユニバーサルデザインの基本的な考え方について本当に啓発が必要なのは中高生なのかもしれないと感じる時があるため、実態を考慮して検討してほしい。

（２）三重おもいやり駐車場利用証制度車いす優先区画の試行の報告について

* 優先区画の試行について効果はどうですか。

⇒新たなマークへの貼り替えを行ったばかりで、まだ効果測定できていませんので、次回以降に報告できたらと思います。

* おもいやり駐車場の路面標示について、駐車後にマークが車両の下に隠れて見えないところがある。駐車後もマークが目立つ区画の入り口付近にあるといい。
* ポール上の高いところに表示してあるところもある。
* 全面青色に塗装し、ゼブラゾーンをなくすことで軽自動車等のゼブラゾーンへの駐車を抑制しているところもある。

⇒気づかれやすい標示について検討したいと思います。

* おもいやり駐車場について出前授業で啓発すると、子から親に伝わり効果的だと思う。
* 団体への出前授業はできますか。

⇒ご要望伺いながら対応可能。学校出前授業とは別枠で対応しております。

（３）UD啓発イベントの実施報告について

【委員意見】

* 合理的配慮で、旅館業法の宿泊拒否事由が追加され、障害者の宿泊拒否につながらないよう事業者への研修を行いましたが、配慮に向けて理解が進んでいると感じています。

・今回のイベントについて、アンケートはとりましたか。

⇒アンケートは取りませんでしたが、保護者も含め体験を通して関心をもってもらえたと思っています。

（４）その他

特になし

⇒本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。 （以 上）